

## イースタン・カーライナー

## 印・中東や米東岸に配船エリア拡充

在来・多目的船と自動車船を使った重量物輸送サービスを展開しているイースタン・カーライナー(ECL)では、今年、インド・中東地域およびパナマ運河経由での米国ガルフ・東岸地域にかけて、在来・多目的船の配船エリアを拡充した。インド・中東方面では鋼材や建機、鉄道車両などの輸送需要を取り込みを進めているほか、米国東岸向けではプロジェクト貨物、建機などの輸送を行なながら、マーケットの開拓を進めている。

ECLがブレークバルク・重量物輸送で活用している船隊は在来・多目的船の1万3000~1万4000重量トンのツインデッカー22隻と、自動車船部門の4000台積み6隻、650台積み2隻、海外事業会社保有の600台積み1隻。在来・多目的船隊のクレーンキャパシティは60~150トンで、うち5隻は2023~24年に新造整備した。

発注残としては昨年新造長期用船を決めた1万7000重量トン型トリプルデッカー(三層甲板船)が来年5月に竣工予定であるほか、今年新たに檜垣造船建造の1万3000重量トン型船1隻、本田重工業建造の1万7000重量トン型船1隻の追加整備を決めた。それぞれ2027年1月と3月の竣工を予定している。このうち1万3000重量トン型船は輸送ニーズの変化に合わせて従来船

型から船倉の縦幅を拡大。容積を約9%増加させ、2万500立方メートルとしている。

また来年竣工する1万7000重量トン型トリプ



ルデッカーは既存船隊よりも大型の250トン吊りクレーン2基をサイドに設置。オンデッキで80mの長尺物貨物の輸送も可能となっており、これまでよりもさらに幅広い貨物を輸送できる。竣工後北米航路を中心に、グローバルに配船していく考えだ。将来的には同じく500トン吊りクレーンを備えた船を持つ他船社との協力も検討していく。

ECLでは日本のほか、海外12カ国・地域に17の営業拠点がある。うち1拠点が米国で、ほか16拠点をアジア各国に置いている。海外拠点のスタッフは日本人、ローカルスタッフ併せて200人弱。海技者も多数配置しており、日系顧客に対する細かなカーケアやニーズへの対応が可能となっている。

インド向けの貨物輸送需要増加に伴い、今年は新たにインド・バンガロールに日本人駐在員1人を置いた。インド向け貨物の品質管理を担うほか、インド発貨物の取り込みを目指している。

る。またインド以西の中東向けではサウジアラビアのダンマンやUAEのジュペル・アリへの配船が定期的にあるほか、今年はイラクにも寄港した。

今年はブレークバルク・重量物貨物として、日本からシンガポール向けにライトトレール(LRT)の輸送、タイ向けにプラント輸送などを手掛けた。さらに韓国出し北米向けでは海上コンテナ40~50本分の蓄電池を輸送した。蓄電池は輸送リスクがあるため、コンテナ船に積載できないケースがあるが、ECLでは現在、在来・多目的船で1本をオンデッキで積載して対応している。

このほか横浜港の大黒ふ頭、本牧ふ頭で、積み出しを効率化するTRS(ターミナル・レーシビング・システム)を導入している。日本港湾ではヤードのキャパシティ不足が課題となる中、海上輸送以外の部分でも効率化を進めることで顧客ニーズへの対応を行っている。

## ECL Heavy Lift 500 tons

May 2026 Debut!

Coming to a port near you soon...



EASTERN CAR LINER, LTD.

<https://www.ecl.co.jp/>

2026年版

最新版 好評発売中

## 海運・造船会社要覧

海事関連企業・団体  
約1000社のデータを掲載

本書は1969年の創刊以来、実務に役立つ代表的な海事関連企業・団体要覧として経営者・実務者の方々から好評をいただいております。

日本国内の海運会社、造船会社、舶用製品・サービス業、海運仲立・代理店業、商社・金融、関係団体・官庁など約1000社・団体を収録し、本支店・事業所所在地、創立年、資本金、役員・従業員数、株主数、大株主、社船と運航船腹、造船所の工場設備、建造能力などの各種データを見やすく整理して掲載。特に、非上場企業やホームページを開設していない企業を含む各社の社歴、現況、特色、決算概要、取引先、組織、役職員名簿などは本書の最大の特徴です。

営業活動のほか、マーケット分析、信用調査、学術研究など多方面にご活用いただけます。本書の最新版をお手元に備え置かれることをお勧めいたします。

## お申し込みは

海事プレス ダイレクトショップ



## お問い合わせ

株式会社 海事プレス社 販売担当  
TEL:03-5835-4162 FAX:03-5835-4160  
E-mail:hanbai@kaiji-press.co.jp

発行:2025年10月31日  
形態:A5判・約900ページ  
定価:26,400円(税込)  
送料:1冊990円  
(全国一律、税込)

地方港総覧  
2025卷頭特集 地方港への期待と課題  
荷主の地方港戦略

電子版にて公開中!!

第2特集 内航大型化対応で港湾整備加速

第3特集 地方港インセンティブ

第4特集 地方港データファイル

KAIJI PRESS Daily  
海事プレス & Cargo 臨時増刊号 2025年8月